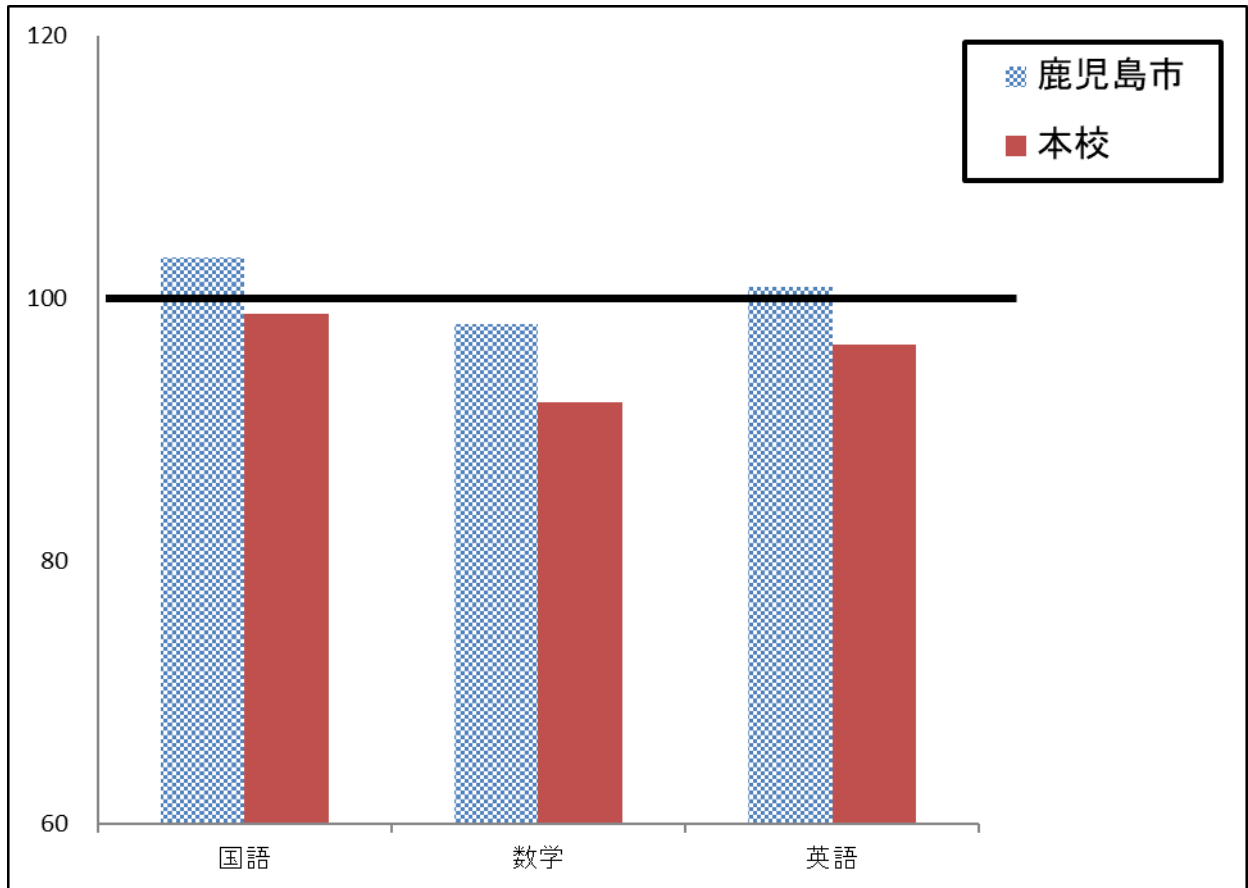


令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

南中学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 本校の課題に対する改善策

<国語>

- 特に書くこと（記述式）・無回答率，遅読によると思われる末尾の設問の無回答が課題です。対応策として，短時間の速読，明確な記述のために「型」を活用した書くことの継続を実践してまいります。

<数学>

- 分布グラフからは，0～2問の正答が20%近くいることから基本的な四則計算，特に分数の計算に課題がある。全体的にデータの活用における累積度数や四分位範囲などの言葉の意味を理解できず解けていないようである。データの活用については，今後も復習の時間を確保し繰り返し理解できるよう取り組んでまいります。

<英語>

- 道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択することに課題が残りました。図やグラフを組み合わせたリスニング問題を授業にも取り入れ、問題形式になれるよう取り組みます。
- 書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書くことに課題が残りました。授業で文章の構造（意見→理由・具体例→まとめ）や定型表現を繰り返し練習し、テストで類似した実践問題を設定し、理解度を高めたいと思います。
- 話すことは簡単な質疑応答は比較的できるものの、相手の意見に対する自分の考えとその理由を伝えるなどまとまりのある内容を話すことに課題が残りました。書くことに関連して自分の意見や考えを伝える言語活動をより取り入れていきたいと思います。

<全体的に>（生徒質問紙から）

- 先生によいところを認めてもらっているという実感に乏しいようです。授業内容をわかるまで教えるとともに、自己肯定感が高まる取り組みを行っていきます。
- 学習時間は、比較的よく確保されています。今後、効果的な学習方法や ICT を活用した授業及び家庭学習をさらに推進していきます。
- 話し合い活動を通して自分の意見を述べたり、集団の課題を見つけ解決したりすることが苦手な生徒が多いようです。学活や道徳、総合的な学習の時間、教科の授業など学校教育活動全般を通して、主体的・対話的な深い学びに向けた授業改善に取り組んでいきます。
- 地域行事にはよく参加しています。今後も、学校・家庭・地域が連携して子どもを見守ることができるように、地域行事等へ積極的に参加させてください。
- 英語の授業への満足度は高いようですが、国語の授業への満足度が低いようです。効果的な話し方の工夫や根拠を明示して自分の考えを文章にすることができるよう授業の改善に取り組んでまいります。